



## ドイツの留学生ヤンさんが能勢小で交流しました！

7月20日(月)～9月4日(金)まで、ドイツのハンブルクから白井ヤンさん17歳が、短期留学生として能勢分校に来ました。ヤンさんは父がドイツ人、母が日本人で、ドイツ語、日本語を話します。能勢町平通にある能勢高卒業生の家にホームステイし、自転車で通学しました。授業は3年生と共に受け、ドイツについてのプレゼンテーションは、全学年の授業で行いました。日本語ボランティアの先生方に日本語学習のサポートを受けました。能勢版「寺子屋」ではドイツから見た能勢の活性化について話しました。放課後はテニス部をはじめ、茶道部などクラブ活動を楽しみました。

9月3日(木)には能勢小学校を訪れ、4、6時間目に6年生、5時間目に5年生の英語活動に参加しました。はじめに15分ほどドイツについての紹介を日本語で行いました。ドイツの小学校では夏休みに宿題がないことに、小学生からは「うらやましい！」と、驚きの声があがっていました。その後、ドイツについてのミニクイズや、ドイツのゲーム『人間神経衰弱』では大盛り上がりでした。短い時間でしたが、給食や掃除の時間も一緒に過ごし、充実した一日となりました。最後は「また会いましょう、ダンケシェーン(ありがとう)！」と、ドイツ語であいさつし、別れを惜しんでいました。



能勢小の英語活動にて

当初は約3か月の予定が、コロナの影響で短くなりましたが、念願の留学が実現し、本当に良かったと思います。能勢町でのたくさんの思い出を胸に、9月5日(土)、ドイツへと帰国しました。毎年日本へは帰ってくるそうなので、来年も必ず能勢に来ると言っていました。これからも交流が続くよう願っています！



帰国したヤンさんから手紙が届きました☺

能勢高のみなさんへ、  
 2022年9月14日( ) No.1  
 6週間おでせえになりましたこの期間はあつという間に  
 過ぎつい昨日能勢に初めて来たように感じます初日は  
 色々不安もあり緊張してはいたけど徐々に話しかけてもらって  
 17緊張感はずく消えれた  
 能勢高に通ってすごく特別で素晴らしい学校だと感じました。  
 寺小屋の参加 沖 玲 瑠 シアターの見学 能勢小で授業をしたこと、  
 豊中高校での一日体験入学 テニスの試合に出場 農業の授業に  
 参加すること 普通の学校に留学すれば体験できなかったような  
 ことができたこと ドイツでは部活というものが存在しないので 杜  
 けのクラブに参加できたことは貴重経験でした 本当に色々な  
 方面で勉強になりました。  
 能勢高の生徒はとてモイロしく 自分なりに変化を面白がるか  
 ら多くいました。みんなとはしゃがり遊んだり 楽しむところ  
 ぶさけあたりして 楽しい思い出が たくさん残りました。  
 杜けのけいけい 農業 観光など 日常生活で役立つ言葉や 関西弁  
 を教えてくれて ありがとうございます。  
 留学している間は毎日新しいことを学んだり 体験したり 新しい人に  
 出会ったり 誰かが言う一面を知れたり 毎日自分の世界が広がっていく  
 感覚でした。かけがえのない経験も ありがとうございます。能勢高  
 に留学したのは 人生最高の選択だったと思います。  
 来年度も会いましょう。

## 能勢分校で土曜講習が始まりました！！

高校での授業やクラブ活動を体験する「土曜講習(全7回)」が、9月5日(土)より、今年も能勢分校で始まりました。能勢中、渋谷中の生徒が参加し、すでに2回目が終わりました。授業では、情報と子ども文化、クラブ活動ではテニス、卓球、バトミントン、空手を体験しました。高校生活を垣間見ることができ、参加した中学生からも楽しかったと声が上がっていました。



テニス



情報



子ども文化



バトミントン



空手



卓球



## 能勢版「寺子屋」がスタートしました！

### ●7月18日(土) 第1回 能勢版「寺子屋」●

能勢版「寺子屋」とは、「能勢の高校を応援する会」のワークショップ、「未来フォーラム」から生まれた、住民と高校生が共に活動する、新しい学び場です。その開校式が、能勢分校体育館で行われました。「能勢の高校を応援する会」西田会長から開校宣言があり、府議、能勢町、豊能町の来賓の方々から熱いメッセージを戴いたあと、能勢分校生徒2人による発表、卒業生4人のミニプレゼンテーション、そして、川田ファシリテーターによる体験チームワークショップを行いました。

生徒の発表では、北海道の浦幌町での農業体験から浦幌での地域活性化を学んだこと、秋田国際教養大のグローバリズム、陸前高田市の戸羽市長との懇談での地域おこしで学んだことを発表しました。また、卒業生4人は能勢高校で得た体験について発表しました。最後は寺子屋体験ワークショップを行いました。地域活性化を目的に開校した寺子屋らしく、みんなで共感する、第一回能勢版「寺子屋」となりました。



3年中植さん



3年田村さん

### ●8月22日(土) 第2回 寺子屋●

今回は分校生による「地域魅力化クラブ」が、自分たちで情報を集めて作り上げた『能勢のカフェ案内』について発表しました。また、ドイツ留学生の白井ヤンさんが能勢町の活性化には何が必要か、『ドイツから学べる事』という発表を行い、森林活用が大切だと話しました。また、ヤンさんのホストファミリーであり、「さらら森のいえ」という里山保育所を運営されている稲原さんから『森と水の森林ファンド ドキュメンタリー映像を作ろう！』の発表があり、さっそく何名かの高校生が映像作りへの参加を希望しました。どんな作品ができるか、これからが楽しみです。



スピーチするヤン



地域魅力化クラブ発表

この模様が関西テレビで放映されました！

関西テレビニュースより

第2回寺子屋の様子が8月22日(土)の夕方関西テレビ「FNN Live News it!」で放映されました。ニュースでは、『大阪・能勢町で「寺子屋」高校生や住民が未来語る』として取り上げられました。関西テレビのHPでは『いわゆる「消滅可能性都市」の一つとされる大阪府能勢町を活性化しようと地元の高校生が地域の住民と共に学ぶ「寺子屋」が開かれました』と始まり、分校生やヤンさんのプレゼンテーションや意見を紹介し、『参加した人たちは、これからのまちづくりのヒントを共有しました』とまとめられていました。

## 能勢町・能勢分校連携講座を開催しました！

8月24日(月)、「株式会社 能勢・豊能まちづくり」代表取締役、榎原友樹さんをお迎えし、1~3年GS(グローバルスタディ)課題探究講座を、4限1年生、5限3年生、6限2年生と学年ごとに3回に分けて行いました。『高校生と考える。まちの「今」と「ミライ」のこと』と題されたこの講座は、能勢町との連携公開講座として開催され地域の方にも参加いただきました。高校生と地域住民が一緒になり能勢町の将来や再生可能エネルギーの可能性について考えました。

榎原さんには以前よりSDGsや再生可能エネルギーについて講演いただいております。今回は今年設立された新電力会社の代表就任後、初の公開講座でした。これまでに取り組まれた環境・エネルギー分野のプロジェクトや経験談を交え、能勢町のこれからについて話していただきました。

●この模様がYouTubeにアップされていますのでぜひご覧ください●

⇒<https://youtu.be/6rZSehu1q5I>



## 卓球部がオリンピック選手とオンライン交流

7月13日(月)に卓球男子でリオデジャネイロ五輪卓球男子シングルス銅メダルの水谷隼さんと、オンライン上で行われた『明日へのエール PROJECT』に、能勢分校卓球部が参加しました。部員は現在3人ですが、コロナの影響で練習が思うようにできない中、水谷選手の生のエールに大いに勇気づけられました。この模様は電子版日刊スポーツに掲載されました。



## 空手道大会で優勝！

3年八木大樹くんが、9月6日(日)に大阪学芸高校で行われた「第32回大阪府公立高校空手道大会」の男子個人形の部で見事優勝しました！おめでとう！